

F型分解手順

* シリンダの分解は、位置及び振れ精度等、重要な箇所が多数ありますので、とじ合せ部にはマーカール等で合いマークを付け、無理な力が加わらない様、又キズ等を付けない様注意して作業して下さい。又、必要時以外はアウターレース⑥ インナーレース⑦ ベアリング⑦ 及びシリンダ③ シリンダフタ④ ピストン⑤等は外さないで下さい。

- 1) ホースコネクター⑱ コネクターパッキン⑲六角穴付止メネジ⑳を外します。
- 2) シリンダケース① シリンダケースフタ②のとじ合せ部にマーカール等で合いマークを付け、六角穴付ボルト㉑を外し、シリンダケースフタ②を取り外して下さい。
- 3) シリンダケース①をギアー抜き工具等を利用して外して下さい。
- 4) アウターレース⑥を基準にシリンダフタ④(取付端面・外周)の振れ(0.01以内)を確認・記録して下さい。
六角穴止メネジ㉒を緩め、オサエ板止メナット⑩ オサエ板⑩を外して下さい。
ベアリング⑦ アウターレース⑥ ベアリング⑦ インナーレース⑦の順に取り外して下さい。
- 5) シリンダ③ シリンダフタ④ ピストン⑤の分解
六角穴付ボルト㉒を外して下さい。
シリンダ③後方よりピストン⑤に垂直に軽く力を加えるとシリンダ③とシリンダフタ④ピストン⑤は分離します。
シリンダフタ④とピストン⑤を取り外して下さい。

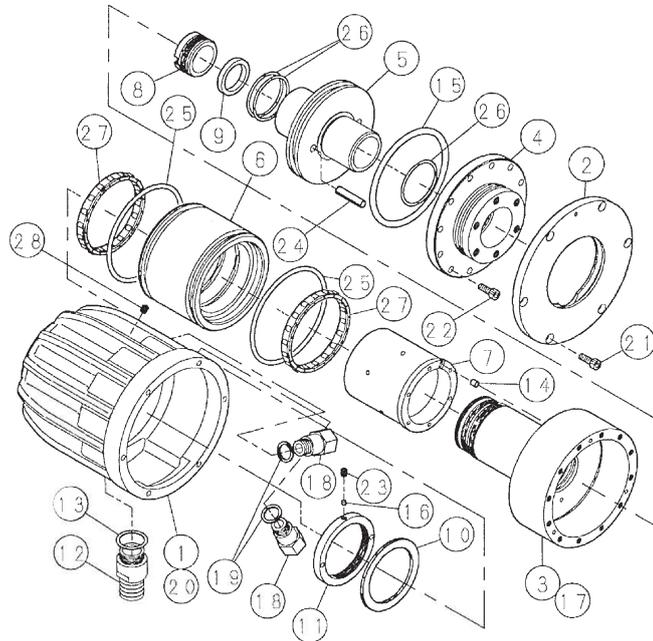
再組立

分解手順と逆の手順で、下記の項目に注意して組込んで下さい。

- 各部品を洗浄しゴミやキズ等の有無を確認し除去して下さい。
- Oリングや摺動部には潤滑油を塗布して下さい。
- Oリングやパッキン・オイルシールは消耗品です。(P23)
シリンダをより長くご使用していただく為、2000時間の使用又は、20万回の作動ごとに分解点検を行い、各部をチェックし必要であれば消耗品等の交換を行って下さい。
- とじ合せ部の位置及び振れ精度等は、忠実に再現して下さい。
- ボルトの締め付けは、当社規定のトルクで確実に行って下さい。(P20 表1)
- シリンダケース① シリンダケースフタ②のとじ合せ面には、液状パッキンを塗布して下さい。
- コネクターパッキン⑲は、座をはみ出さないよう注意して組み込んで下さい。

F型 パーツリスト

No.	部品名	数量
1	シリンダケース	1
2	シリンダケースフタ	1
3	シリンダ	1
4	シリンダフタ	1
5	ピストン	1
6	アウターレース	1
7	インナーレース	1
8	ドロバートメネジ	1
9	カラー	1
10	オサエ板	1
11	オサエ板止メナット	1
12	ドレーンプラグ	1
13	プラグパッキン	1
14	油穴位置決メピン	1
15	Oリング	1
16	当金	1
17	プラグ	3 注1
18	ホースコネクター	2
19	コネクターパッキン	2
20	銘板	1
21	六角穴付ボルト	6 注2
22	六角穴付ボルト	12 注3
23	六角穴付止メネジ平先	1
24	スプリングピン	2
25	Oリング	2
26	Oリング	3 注4
27	ローラーベアリング	2
28	六角穴付止メネジ	1



注1. F10型 F12型 4個 F14型 F16型 F18型 5個

注2. F16型 F18型 8個

注3. F10型 F12型 16個 F14型 15個 F16型 F18型 20個

注4. F8型のみ前側(1個)と後側(2個)の型式が異なる。

F型油圧シリンダ 消耗品

符号	部品名	F4	F5	F6	F8	F10	F12	個数
15	Oリング	JIS B2401 P58	JIS B2401 P80	JIS B2401 P100	AS568-426	JIS B2401 P145		1
19	パッキン	NIKKO 820427	NIKKO NHC2127					2
25	Oリング	JIS B2401 G80	JIS B2401 P90	JIS B2401 P100	AS568-427	JIS B2401 G155		2
26	Oリング	JIS B2401 P32	JIS B2401 P36	JIS B2401 P46	AS568-331 1個 AS568-228 2個	JIS B2401 P80		3

符号	部品名	F14	F16	F18	個数
15	Oリング	JIS B2401 P165	JIS B2401 P220		1
19	パッキン	NIKKO NHC2127	NIKKO 9216001		2
25	Oリング	JIS B2401 G175	JIS B2401 G250		2
26	Oリング	JIS B2401 P102	JIS B2401 P150A		3